

平成 30（2018）年度 栃木県環境マネジメントシステム（EMS）の運用状況

EMSの主な実施事項は次のとおり

Plan（計画）	各所属における環境影響調査、環境法令適用確認、目標設定・実施計画作成
Do（実施）	環境に配慮した事業推進／職員研修の実施 など
Check（点検）	実施状況の自己点検（評価）／内部環境監査／外部評価
Act（改善）	知事による全体評価（改善指示）

Plan（計画）

- (1) 全所属において、所属の事務事業について、環境への影響及び環境法令等の適用を確認し、目標を設定して実施計画を作成
- (2) 事務局において、(1) より、各所属において当該年度の最重要課題として取り組むものを取りまとめて、所属目標一覧表を作成し、全庁に周知

Do（実施）

- (1) 環境に配慮した事業推進
環境方針、実施計画等に基づき、環境に配慮しながら事業遂行
- (2) EMS研修等の実施
 - ① EMS運用研修【5月】… 新任EMS推進員及び担当者を対象に実施（321名）
 - ② EMS 内部環境監査員研修【8月】
…全所属のEMS推進員を対象に実施（260名）
 - ③ eラーニング研修（電子学習システム）【8月】… 今年度は実施せず
 - ④ 庁内情報紙の発行【3月】… 「EMS通信」を全所属（全職員）宛てに配信

Check（点検）

- (1) 実績報告書による評価【10月】
全所属において、平成30（2018）年4月～9月の実績について自己点検（評価）を実施
- (2) 内部環境監査【10月～11月】
全所属の半数を対象に相互監査を実施（監査対象は152所属）
※ 監査対象とならなかった所属においては、監査と同じ内容を自己チェック
- (3) 外部評価【11月～2月】
 - ① 第1回委員会【11月】… H29の改善状況、H30の取組状況、現地調査の検討
 - ② 現地調査【11～12月】… 18所属を対象に実施
 - ③ 第2回委員会【2月】… 全所属の取組の確認、評価結果の取りまとめ

Act（改善）

- (1) 知事による全体評価【3月】